

## 8,600TEU 型新造コンテナ船“HANOI BRIDGE”にて、SCR 装置の運用試験を開始

2013 年 3 月 19 日

川崎汽船株式会社

ジャパン マリンユナイテッド株式会社

ダイハツディーゼル株式会社

川崎汽船株式会社、ジャパン マリンユナイテッド株式会社及びダイハツディーゼル株式会社は、MARPOL 条約付属書VIに定められた NOx 三次規制に対応する選択触媒還元法脱硝装置（SCR 装置）の運用試験を開始します。

2016 年より規制が始まる予定の MARPOL 条約 付属書VI の NOx 三次規制では、指定海域内でディーゼル機関の排気ガス中の NOx を一次規制比約 80%削減することが求められています。これに対する具体的な解決策としては選択触媒還元法(SCR)が有効な手段とされており、その実用化に向けた研究開発が各方面で行われています。

SCR 装置は、陸上施設の脱硝装置や北欧に就航する一部の船舶に採用事例があるものの、大洋航行する大型船舶への搭載の事例は限られています。2016 年以降に建造に着手する船舶が指定海域とされる欧州や米国に就航する際には、NOx 三次規制に適合することが求められることから、大型船舶への SCR 搭載・運用時の諸問題を解決し、実証しておく必要があります。

このため、2013 年 3 月 26 日に就航を予定している 8,600 個積み大型新造コンテナ船“HANOI BRIDGE”の大型発電機用ディーゼル機関に SCR 装置を装備し、運用試験を実施することといたしました。この SCR 装置は既に本船建造中に装備しており、海上試運転等において所要の性能を満足していることを確認しています。

本船就航後は約 1 年半にわたり実際の運航における SCR 装置の性能評価、運用上の問題の有無を確認して行くことにしています。

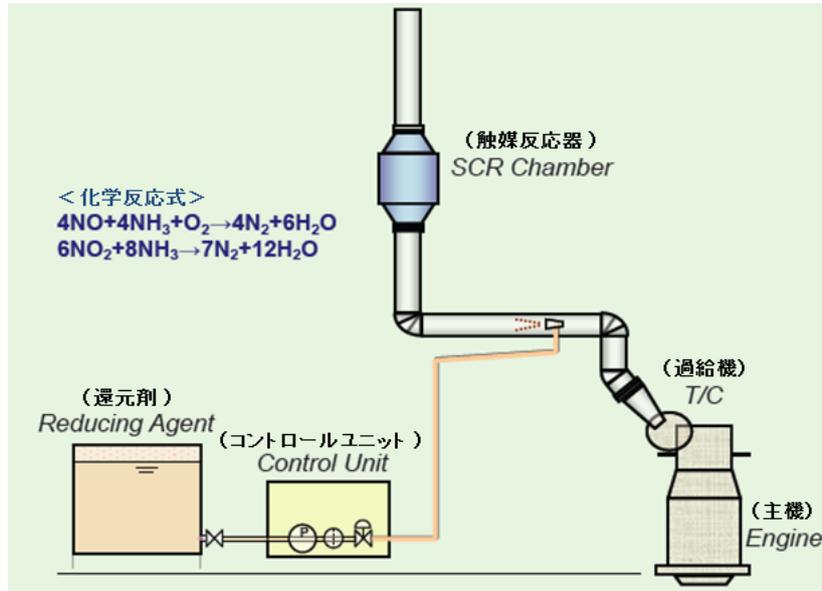
川崎汽船株式会社、ジャパン マリンユナイテッド株式会社及びダイハツディーゼル株式会社は、地球環境の保全に貢献するために協力しあい様々な技術開発に積極的に取り組んでいきます。

本件は、一般社団法人日本海事協会殿の「業界要望による共同研究」スキームにより同協会の支援を受け実施しているものです。

### < 船舶概要 >

船名	HANOI BRIDGE
建造造船所	ジャパン マリンユナイテッド株式会社
船番	3290 番船
船種	コンテナ船 8,600TEU 型
対象機関	ダイハツディーゼル株式会社製 8DC-32 (出力 3,000kWm)

<選択触媒還元法脱硝装置(SCR装置)>



担当窓口

川崎汽船株式会社 技術グループ機関チーム 亀山 真吾(かめやま しんご)

Tel: 03-3595-5106 Fax: 03-3595-5355

ジャパンマリンユナイテッド株式会社

企画管理本部 総務部 総務グループ 水上 敬太(みずかみ けいた)

Tel: 03-6722-6102 Fax: 03-6722-6090

ダイハツディーゼル株式会社 総務部 水科 隆志(みずしな たかし)

Tel: 06-6454-2331 Fax: 06-6454-2750